

第37回海友フォーラム懇談会 2019年1月22日

馬関・赤間関の「ふぐ」を美味しくする小話など (その1)

はじめに

今回、事務局から「河豚（ふぐ）」について、お題を頂いたのを期に、神戸を離れ10数年間下関に勤務し、いやという程「ふぐ」を食し、見聞きした多くの話をまとめてみることにした。

かの地の酒席の通説小話集であり、時代考証 統計資料等を重ね合わせ真偽を確かめると面白く無くなる部分もあるので、敢えて地元の諸会合で仕入れた耳学問程度に止めたものもある。理解を深めるために参考程度に年代は記入したが、真偽の考証等は諸兄の今後の文化学術活動に委ねたいと思います。

■1■フグ 河豚 とは 一般に 「とらふぐ」のこと

【1】 「とらふぐ」とは トラフグ Tiger Puffe トラフグ属 25種の1つ。

- ・体長70cm、重さ10kg近くまで成長。肝臓 卵巣 等は有毒。
- ・生態：回遊魚。生態群としては「東シナ海、日本海系群」、「瀬戸内海系群」、「伊勢湾、遠州灘群」の3つの系統があると。
- ・同属の25種：クサフグ マフグ ヒガンフグ コモンフグ カラスフグ ナシフグ等有毒なるも可食。異種族交雑するので中間種が出現する。
- ・参考系統分類・脊椎動物亜門 条鰭綱（じょうきこう） ほぼ魚類
 - ・フグ目：3亜目9科101種 カワハギ科 ハコフグ科 リセンボン科 マンボウ科
 - ・フグ科 Tetraodontidae：サバフグ属トラフグ属等27属 180種
 - ・トラフグ属 Takifugu rubripes 25種

【2】 「ふぐ毒」について

- 1) 毒は 肝 卵巣 に存在 種類によっては 皮 白子にも。
 - ・細菌が生産したものが、餌となるヒトデ類、貝類を通して生物内濃縮されフグ体内に蓄積。
 - ・毒性は、経口摂取では青酸カリの850倍程度。300℃以上に加熱しても分解されず。
 - ・季節により毒の量に変化。種によって上述の通り毒化する部位が異なる。
 - ・餌の種類を変えて養殖すると、同種であってもフグ毒が少なかったり、全くない場合も。
 - 無毒の肝食をブランド化する特区構想あるが・・・。
 - ・無毒の養殖フグの群れの中に、毒を持つ天然種を放流すると無毒の群れも毒性を帯びることもあると。
- 2) フグ毒： 学名 テトロドトキシン
 - ・ピブリオ属やシュードモナス属などの一部の真正細菌によって生産されるアルカロイド。
 - ・語源はフグ科の学名 Tetraodontidae（4つの歯を持つという意味の学名）と毒素（toxin）から合成。
 - ・他に、アカハライモリ、ツムギハゼ、ヒョウモンダコ、スベスベマンジュウガニなどにも。
- 3) テトロドトキシン は神経毒（その症状と療法等）
 - ・フグ毒摂取の症状は麻痺：神経細胞や筋線維の細胞膜に存在する電位依存性ナトリウムチャンネルを抑制し、活動電位の発生と伝導を抑制することによる。
 - ・摂食後20分程度から数時間で発症。意識が明瞭なまま麻痺が急速に進行。24時間以内に死亡する場合が多いと。（脳からの呼吸に関する指令が遮られ呼吸器系障害を発症し死に。）
 - ・拮抗薬や特異療法が存在せず、解毒方法も見つかっていない。

- ・毒が人体内で代謝によって分解され、無毒化され排出されると、神経伝達が再開する。

*後述のタコつぼ等の民間療法が的外れであることがわかる。

4) フグ毒の研究

- ・1889年、高橋順太郎(東京帝国大学、初代薬物学教授)はフグ毒を研究。フグ毒がタンパク質(酵素)様のものではないことを証明し、毒力表を作成。
- ・1909年、田原良純(東京帝国大学)は、フグ毒成分を世界で初めて単離、テトロドトキシンと命名。
- ・参考：1888年禁止令解除

5) フグ毒と法律

- ・1888年M21年 山口県令・原保太郎が、フグ食禁止を解除。○○の命による。
対比する禁止令及び○○は後述。
- ・1947年(S22)食品衛生法：フグの肝臓等の部位並びに法添付の表中に示されていない種類のフグの全ての部位(筋肉、皮、精巢を含む。)の販売、提供等は、種類を問わず、天然や養殖に関わらずその販売や提供を禁止。違反罰：3年以下の懲役又は罰金300万円(法人は1億円)以下。
- ・1948年大阪府条例(最初の自治体)：フグの取扱者や施設に関する要件を制定。最終は1970年山口県(大阪万博の年) 参考：1975年歌舞伎役者坂東三津五郎大阪フグ食死事件

【3】 水産業 フグの漁獲高

- ・2000年ピーク 16000t 天然約11000t 養殖5000t
- ・2017年実績 8500t 天然約5000t 養殖3500t
天然 北海道 698t 島根 509t 石川 473t 福岡 281t 山口 277t(*)
養殖 長崎 1734t 熊本 520t 兵庫 200t 香川 196t
(*)山口(下関)が1位ではない

- ・養殖フグの比率拡大に伴い庶民に嬉しい単価と年間価格の平準化。通常2年養殖。
3年養殖ものは高いが大型で美味しい(淡路島) 内陸温泉水養殖(栃木那珂川) 等等
- ・中国産輸入フグのピークは2004年約1000t 2010年約100t 中国不信から極端に減少。

【4】 食文化 フグのおいしさは何と言っても「きも」……であった。

- 1) ふぐ毒恐怖と背中合わせ。でも食いたい「フグキモ」。
 - ・「フグで踊り死に」した歌舞伎役者坂東三津五郎の事件 1975年
 - ・一流料亭の証は 裏庭にタコつぼ設置、庶民は海岸の波打ち際に掘った砂穴に埋めて暴れぬようにして冷す。(神経毒であるので意味が無いが 馬関では言い継がれている話)
 - ・肝はうまい 湯引きの上もみじ醤油に溶かしこんで、テッサを浸す。濃厚なうまみが口に広がる。海のフォアグラとも。アンコウ カワハギよりはるかに旨いと。
 - ・「竹の丸箸」リミッター論：「円い竹箸で摘まめなくなるまで」がフグ可食の限界との民間基準？ 杉の角い割り箸では痺れてきても滑らないので死ぬまで食べてしまうと。
- 2) 美味いとされる肝はどこで食えるのか。 単なる都市伝説なのか
 - ・フグ食禁止条例の無い唯一の大分県。ふぐの肝を提供してはいけない 食べてはいけないという禁止条例がない。それが故に、正々堂々と大分白杵では、美味しい肝が食えるという都市伝説に。加えて、禁止の下関で捌いたふぐの肝は、翌日大分で提供されとの話もある。
 - ・「フグ肝食」の特区構想：養殖無毒フグの「町おこし村おこし」は実現するのか？ (佐賀)

「生肝」提供を厚労省に申請しているが、未だ認可は実現せず。実務上証明不能な難題、「試験片の肝は確かに毒は無いが、提供するすべての肝に毒が無いことをどう証明し保証するのか」と。

■ 2 ■ 「下関のフグ」、なぜ下関なのか。

【1】 下関以外にも「フグ」の美味い産地は多数ある。

- ・フグの名産地 伊勢湾 三河湾 遠州灘 能登半島輪島 大分臼杵佐伯：豊後水道
- ・新興ブランド戦略の諸産地；静岡 佐賀 福岡 石川

【2】 では何故下関か？ ブランド化戦略の先駆け

1) 「フグ」のブランド化に奔走した男「小野英雄」の存在あり。

- ・1950年頃より、小野英雄らの尽力で下関でのフグ流通の活性化の取り組みが始まる。1店1品運動。
- ・1960年代に、日本海でのトラフグ漁が活発化して漁獲高が増加。
- ・1965年 李承晩ライン解除（日韓基本条約締結による）
- ・1975年 小野らの尽力で、フグ専用の魚市場 南風(はえ)泊港開設。
- ・いまや、どこで採れようと 高く売れる下関(南風泊市場)に集まる理由
 - ・フグ毒のため、必要な「身かき」「皮むき」の加工場が下関付近に集積している。
 - ・身を引き締めるため水槽内で1日程度絶食要。トラックの長距離輸送所用時間と重複させることで集荷範囲が拡大。
- ・毒が故の法律条例等の参入障壁の高さを克服、ニッチ戦略のお手本。

2) 【日銀 山口県金融・経済レポート：2011年5月 日銀下関支店(*)】に見る下関のフグ

- ・表題【「フグの町下関」における最近のトラフグの卸市場の動向】で、南風泊市場の動向が報告された。
- ・全国のフグ類取引の2割前後を取り扱っており、中でも、単価が高くフグ類の代表格であるトラフグについては、全国の取引量の2分の1（天然物）ないしは4分の1（養殖物）程度が南風泊市場で取引されている。
- ・天然トラフグは、足もとは121トンと、直近ピークである1985年度(1,056トン)の10分の1にまで減少している。

取扱量 約1990t/2010年 ピーク約3400t/1991年

取引額 30億円/2010年 ピーク105億円/1990年 トラフグのみ

(*)日銀32支店の1つ、1893年開設。下関には日銀発足(1882年)前の1878年から国立銀行ありた。

■ 3 ■ 「下関のフグ」、どうして下関なのか。余所にはない独特の下関の食文化 がその美味さを増大。

【1】 「フグ」は「不具」に繋がり忌み嫌い、下関では「ふく(福)」と言う。

- ・福が来る下関のフグ
 - マンホール 電話ボックスにフグのマーク
- ・ちなみにダジャレで、
 - 大阪では「鉄砲」：「当たれば死ぬ」
 - 全国的に「名古屋」：「当たったら身の終わり(美濃・尾張)になる」
 - こちらは、クサフグ、コモンフグやナシフグ、ヒガンフグ とか
- ・なお、最高級の天然トラフグは、防府 徳山の粕島(すくもしま) 沖から、国東半島の姫島にかけての

周防灘産。食通には穴場ではある。(後述【3】:「しろ」に軍配か?)

【2】 「ふく」のシーズン:

- ・彼岸から彼岸までが、「ふく」=「トラフグ」のシーズン。市場開始。
- ・近年は、彼岸から翌4月29日(2・9ふくの日)まで
- ・夏場でも「ふく」刺し「テッサ」はあるが「くさふぐ」を使うと。

【3】 『しろ』『くろ』の食べ分けをする粋な楽しみ方があったと。

- ・回遊魚であり、九州の西 玄界灘を遡上してきたふぐを黒(玄)、日向灘 豊後水道を遡上し瀬戸内海(周防灘)に入った瀬戸内産を白と言っていたと。
- ・今や全国のフグが集まり 老舗の板前でも白黒を言っても何のことか解らない。
- ・ちなみに下関の老舗No1(高い?)すし屋は「な〇わ」。ここの先代の時代でしか解らない古い話だと

【4】 テッサを巻く「安岡ねぎ」のこと 4~5cmと長めに切ってこれにフグを巻く。

- ・「安岡ねぎ」は、薬味として、馬関のふく料理には不可欠の名脇役。
- ・日本海側の安岡の気候風土、特にその砂地(*)土壌から、極細でやわらかく芳醇な香りが特徴。別名「ふくねぎ」
- ・(*)日本海側の砂地の特筆事項として、土木業界では有名な「旧JIS豊浦標準砂」の産地ともなっており、その他考古学的に面白い話がある(後述)。

【5】 最高級フク板前 「ビタ引き」職人。 また、無駄なく全て食す「ふく」

- ・一般的には、フクは死後硬直するので、1晩寝かせる。うまみ成分も出てくる。
- ・「ビタ」とは「活き」。活きた「ふく」を1晩寝かさずに、死後硬直をうまく避けて直接テッサに仕上げる匠の技を持つ職人を「ビタ引き」と。
- ・テッサの他に あぶり 叩き カラ揚げ テッチり にこごり ふぐ皮湯引き 雑炊 残すところなし。
- ・今はもう「ビタ引き」は居ない。美味しい「ふく」は前日予約し1晩寝かせてからが鉄則ということ。

【6】 ふくに欠かせぬ「ひれ酒」

- ・正調は、ひれの4種混合(胸 はら 背 尾)、熱燗で仕上げ 飛ばしの作法(フランベル?)
- ・加えて「増し」の作法あり。酒は、五橋(錦帯橋) 関娘 最近は「獺祭」も。
- ・「ふくシャブ」も食を増進:熱いひれ酒で「シャブシャブ」と。透明なテッサが白濁しさらに美味しく。

【7】 その他 とにかく冬に殺到した、江戸(東京)からの、視察旅行と銘打ったお客さん達

- ・冬場は1週間に10回のフグ懐石でもさばききれないお客さん対応。地獄の梯子掛け持ち・・・
- ・なぜか公務員倫理規程法制定後はぱったりと。多くの料亭が寂れて行った。
- ・バブルのころ最大売上 最大水揚げ 今は昔の話。

■4 ■・下関の「ふく」、なぜ やっぱり下関なのか。 時空を超えて美味しさがしみわたる

「ふく」の本場 としての 下関を位置づけるもの これからが 本日の本題である。

- ・■1~■3 だけでは 馬関のふくの美味さは説明できない。
- ・下関のふくの美味を支え、決定づける、これにまつわる大脳を刺激する馬関の歴史小話と絵巻物の数々。

【1】 そもそも500年前に遡る 馬関のふく 談義 が 序章

- 1) 1592年に出された太閤殿下の「ふぐ中毒取締令」により禁止したことに、馬関のふく談義が始まる。
- ・背景:朝鮮征伐(文禄慶長の役1592年)の為、秀吉は諸国大名に佐賀県唐津市呼子に築城を命じ、集

結させた。これが「名護屋城」。秀吉は軍船を従え名護屋城に西下途中、赤間が関(現下関)に投泊。兵士を休養の為上陸させたが、ばたばたと死者が出た。戦いを前に兵の毀損に立腹した秀吉は、原因たるふぐ(の肝)食を、固く禁じるオフレを出した。これが 馬関赤間が関のふく食禁止令の始まりである。

- ・その後 江戸年間は広く禁食令が一般化、長州藩では、武士が主君に殉ぜず食事ごときで絶命するは武士の恥と、家禄没収等厳しく取り締まった程。
- ・維新政府も 1882 年(明治 15 年)には、フグ中毒の増加を受けて、「河豚食う者は拘置科料に処する」とした項目を含む違警罪即決令を発布しているが、あまり面白くないのでこの話は出さないことに。

2) 関連して、名護屋城とイカと特牛

- ・ちなみに、名護屋城跡がある呼子は、フグならぬイカの名産地。ですが、本当に天下一品のイカは下関「特牛(こっとい)」のイカ。残念ながらブランド戦略おくれたので、ほとんどが呼子に直行状態。次回下関においての折には、ぜひとも「こっとい いか」を。
- ・なお、この「特牛(こっとい)」は、「難読駅名ベスト 10」の堂々 1 位
大きな牝牛をこの地方で「こっとい」と呼ぶことから。丹波では「こっというし」の方言あり。

【2】 馬関における、「フグ解禁」と「春帆楼」と「伊藤」のこと など など

ではこのご禁制ふく食を解いたのは いつか? 誰なのか? ここが 下関ふく談義、男話の始まりである。「春帆楼」が、何故ふぐ調理認可第 1 号店なのか? 奥深い余所では聞けない裏話あり。

では、許可 1 号店 春帆楼 と 伊藤の話

1) 春帆楼とは? 屋号を定め贈ったのは誰か?

- ・時代は明治前夜。高杉が率いた奇兵隊つきの医者でもあった豊前中津出身の眼科医がいたが早世し、その未亡人(○野みち)は身の振り方に思案した。奇兵隊の高杉の松下村塾同門で、その眼科医とも懇意であった伊藤が、「みち」の相談に応じ、「料亭をやれ。屋号は俺が決めてやる」として、贈られたのが屋号「春帆楼」である。ここまでなら 単なる美談で終わるのだが・・・。

2) ところが、である。「春帆楼」の「春」にまつわる 艶話あり。

- ・伊藤は萩藩の足軽伊藤家の養子に入った親父の小せがれ。後に足軽に。幼少の名を「利助(トシスケ)」。
- ・後に、松下村塾の門下生と。松陰に、「俊輔シュンスケ」の名を貰うが、その後「春輔シュンスケ」と改名。つまり 春帆楼の「春」は、伊藤春輔の名前からとった「春」であるというのが 馬関の夜の定説となっているのである。春帆楼誕生は、1881 年明治 14 年の話。時に伊藤は 40 歳。総理大臣就任 4 年前、権勢の中枢に既にあった。
- ・さらに、今でも使っている、春帆楼の「箸袋」の屋号ロゴマーク、たおやかな筆跡の「春帆楼」は、伊藤の筆によるとされている。

3) フグ解禁 と許可 1 号店 春帆楼 の背景

- ・伊藤は出自の低さを知られている赤間が関には好んで帰省はしなかったと言われているが、なぜか春帆楼には再々投宿している。ある嵐の日、女将(みち)が、本日は海がしけてお出しする魚が無いので、これを召し上がって欲しいと出した刺身がことのほか美味かったとのこと。女将に聞いたところ「これは秀吉公がご禁制にした フグでございます。申し訳ございません」と。そこで 伊藤は、「それでは私がその禁を解こう。そして 許可 1 号をこの楼にしよう」とのたまったとのこと。1888 年、フグ可食第 1 号店の出現となる。時に 伊藤 47 歳 既に内閣総理大臣。下関の夜では語り継がれている有名

な艶話である。なお英米法の権威でもあった伊藤は、法に基づいて許可している点が興味深い。今と違って、明治の政治家は、列強に肩を並べるべく、彼ら以上に国際法や英米仏独法に非常に明るかった。

4) 下関講和条約の締結場所が、なぜ春帆楼なのか。伊藤との関係は。

- ・伊藤は、前述の通り下級兵士（足軽）の養子であり、このことが知れ渡っている下関にはあまり足を運ばなかったとされるが、こと春帆楼には頻繁に来ていたことは上述の通り。
- ・当初、講和会場は、原爆で焼失した広島城内の陸軍大本営が予定されていたが、伊藤の一存で、下関に変更。しかも料亭春帆楼で。
- ・女将との艶話と「ふく解禁」の話が無ければ、下関講和条約ではなく広島講和条約となっていたのかも。
- ・なお中国正史では、「下関」ではなく「馬関」条約。春帆楼のおかげで世界史に名を残した馬関赤間が関となった。1881年開楼 1888年フグ許可 1895年日清戦争終結、下関条約締結。

【3】 ではその 下関条約とは、 その第1条 とは （1895年）

- ・伊藤が全権代表として、最重要事項として清に要求し認めさせたかったこと、

第1条：清国は朝鮮国が完全無欠なる独立自主の国であることを確認し、独立自主を損害するような、朝鮮国から清国に対する貢・献上・典札等は永遠に廃止する。

1) 下関条約1条により、朝鮮史上初めて誕生した「独立国家」、「大韓帝国」。

- ・歴史的に見て独立戦争なしに独立した稀有な国の出現。伊藤が最も望んでいた、朝鮮の独立。李氏朝鮮が、400年を経て歴史上初めて属国から解き放たれ、独立国となった。「属国」という主権の無い国家の奴隷状態を、歴史から消滅解放させたのが、条約の第1条。ロシア南下政策に対抗した。
- ・現在の韓国が「日本から独立した」と言っているが、清国からの独立が独立第1回目(*)。第2回目は戦後、1948年米軍統治を経て独立し、大韓民国第1共和国。自らの意志たる独立戦争を経ずして、2度も独立した国は歴史上極めて稀有な存在。正確には独立戦争たる南北戦争はまだ決着がついてない。
- ・しかし、この第1条は、わざわざ後半に記述のある「清国に対する貢・献上・典札等は永遠に廃止する。」にも、大きな意味が有る。次項

2) 1条の後半「清国に対する貢・献上・典札等は永遠に廃止する。」の大きな意味

- ・清国に敗れ、大清皇帝功德碑(1637年)に刻まされたように、李氏朝鮮は「黄金100両・白銀1000両と20余種の物品の献納」を約さされ、その犠牲の上に保証された両班(朝鮮貴族階級)の優雅な生活。この「20余種の物品」とは、「朝鮮人美女、牛、馬、豚など各々3000などの物品」のこと。以後、自らの政府が、500年に渡り自国の美女を物品扱いの奴隷として他国に「貢女」し続けることに。到底日本人には理解できない「奴隷(奴婢)」と言う制度。わざわざ1条の後半に記述した内容は、朝鮮にとって400年に渡る悲惨な不平等の実態からも解放される為に必要が有った重要事項。主権の無い属国を経験してない日本は、到底理解できるものではない。ただし、では今の日本に主権はあるのか?という疑問が有るのは一方の事実だが・・・。

3) もう一つの 1条後半「典札等は永遠に廃止する。」の意味

- ・李氏朝鮮は、明の冊封体制(属国体制)下(1539年)から、帝国を名乗れず属国であり王国。清が差し向ける冊封士に対し、国王自ら迎恩門(*)1)で、三跪九叩頭の礼(*)2)という屈辱的な典札を持って迎えなければならなかったが、この屈辱からも、この1条で解放された。

(*)1) 恩ある中国の使臣を迎えるという意味で建てられた。

(*)2) 三度跪き九度頭を地にこすりつける礼儀作法をもって、清皇帝を公認する誓いをする事。

- 4) 独立門の建設は1897年。1945年でも1948年でもない。
- ・冊封体制から解放された李氏朝鮮は、歴史上初めて帝国を名乗ることができ、主権をもつ独立国家となった。その証として、欧米の凱旋門様式の「独立門」をロシア人に設計させ建てた(1897年)。同時に屈辱的な迎恩門を破壊し、大清皇帝功德碑(三田度の盟約碑とも)も捨て去った。
 - ・現在韓国では、この独立門を、日帝から(正確には米軍統治下から)独立した時のものとしているが、史実は清国から独立した時のもの。(1度目の独立。)
- 5) ちなみに、「三跪九叩頭の礼」と琉球王国首里城「守礼門」と明治の清国との外交謁見儀礼。
- ・琉球も属国であったため王国であり、清の皇帝代理人「冊封士」を三跪九叩頭の礼で、首里城の守礼門で迎えなければならなかった。なお冊封士が去ったあとは守礼の扁額を「首里」に入れ替えていたという。現在は何故か抵抗なく常時「守礼門」。
 - ・なお、「守礼」とは、「守礼の邦と称するに足りる」と宗主国中国の皇帝に褒められたことによると。
 - ・幕末明治期に、日本外交官も清国皇帝謁見時に要求されたが、従わず無視し立礼で(*)。英国も。
 - (*)「日出ずる処の天子、書を日没する処の天子におくる 恙がなきや」との対等関係は 明治幕末期にも維持された。
- 6) 伊藤暗殺(1909年)は、日韓併合前年。
- ・大韓帝国を清国から独立(1897年)させた伊藤は、日韓併合にも反対していたが皮肉にも韓国人に1909年ハルビンで暗殺された。犯人は隣国では英雄と称えられているテロリスト安重根。翌年併合。
- 7) では 下関条約2条とは?
- ・「遼東半島、台湾、他の日本への割譲」。(独立ではない:朝鮮は独立。この違いは何を意味するのか?)

【4】 ついでに その10年後の「日露戦争(1905年)」と 馬関

- 1) 日露戦争は、ベトナム戦争と共に東洋が西洋に勝利した数少ない戦争。更に、歴史上ロシアに勝った国は日本だけ。トルコ フィンランド ポーランド バルト3国等が親日たる背景。
- ・名将、陸軍の乃木、海軍の東郷。乃木は長州枝藩長府の武家の出身。実は、乃木を祀った乃木神社が下関長府にある。乃木は、講和に臨んだ敵将軍ステッセルに帯剣を許したその武士道精神と共に、その後の1次世界大戦の欧州各国の戦術に影響を与えたとして西欧では高い評価。司馬史観の見方とずれもある。「さざれ石」「水師營のナツメの木」が境内にある。乃木神社は後述の忌の宮に隣接している。
 - ・ちなみに、海軍の東郷は世界3大提督の1人。
- 2) バルティック艦隊撃破の大勝利の端緒となった、「敵艦見ゆ」の第1報を発したのは?
- ・東洋が初めて勝利した戦いの、世紀の第1報を発したのは、徴用船「仮装巡洋艦 信濃丸」。当該船の錨が、ここ馬関に残っていることは下関でもあまり知られてない。某社下関造船所に保存。

【5】 東行庵と 高杉晋作の愛妾おうのと 伊藤の話 そして元勳 山縣有朋 井上馨とのこと

- 1) 東行庵とは
- ・維新の革命児・高杉晋作に使えていた「愛妾おうの」は出家し、高杉と高杉が続いた奇兵隊の兵士の菩提を弔うことに。
 - 実は、その庵は、伊藤博文・井上馨・山縣有朋 等明治の3元勳の寄付で明治17年(1884)建てられた、なんともすごい尼寺。

- ・「東行」とは 晋作の号。
- ・下関吉田にあり、奇兵隊の決起進軍を記念し桜の季節に 30 km の「海峽ウオーク」が催されている。
- 2) 実は、この、3 元勲の内儀は、いずれも芸者さん。 幕末の志士は廓通りがお盛んで廓文化 芸者文化の深い理解者だったのかも (関の廓文化 後述)。竜馬の密談も馬関の妓楼で再々行われたとの記録。
- ・後に 伊藤らの妻女は、鹿鳴館で先導的な役を担う。尻込みする武家公家出の政府高官妻女を指導し 欧州式外交の興隆の一翼を担う。赤間が関の色街気質が明治の外交で成果を発揮か？
- ・更に 伊藤は天皇陛下に苦言を頂く程の女好きであったとも。
- 3) 高杉晋作と 日本の香港になり損ねた「彦島」(地図参照)の話 そしてフランス帰りの長州砲。
- ・高杉は、英仏蘭米 4 カ国馬関戦争(1863 年下関戦争) の講和の全権大使。英軍通訳はアーネストサトウ。
- ・英軍に占領された彦島は、晋作の談判で返還され、結果的に香港になりそこなったという彦島逸話あり。
- ・長州砲では役に立たず壊滅的に打ちのめされた馬関戦争。仏国に戦利品として持ち去られた長州砲。世界遺産に指定された「萩の反射炉」ではなく、同じく萩の郡司鑄造所の製造(1852 年)。
- ・安倍首相の父安倍外務大臣が仏国パリの博物館に展示されているのを発見、返還要求するも、「100 年貸出し」という事になって、今は長府博物館に一時帰国している。
- ・なお、彦島には、6000 年前のものとも言われている遺蹟、ペトログラフ(古代縄文時代の岩刻文字遺)が 2 件もある。彦島八幡宮と杉田(某重工杉田社宅)岩刻文字遺跡。角島にもあるが後述【1 1】2) ハ)

【6】700 年遡って、馬関と 遊郭文化と壇ノ浦の合戦(1185 年)。竜馬も遊んだ維新前夜の馬関の廓。

1) 花魁を擁し、吉原 島原をしのぐ大遊郭を維持した赤間が関 稲荷町

イ) 馬関の大妓楼 大坂屋。

- ・長州藩の志士達が長府藩の赤間関に滞在した時は稲荷町の遊郭、特に最高級の大坂屋の対帆楼で遊び、アーネストサトウもここで日本最初の洋食(*)を食したとも。また、高杉晋作と西郷隆盛とが、ここで直談判したのではないかと。

(*) 大坂屋跡地に立つ〇〇ホテルに、この洋食の再現メニューが有る。(あった?)

ロ) 「先帝祭」と 安徳天皇陵 阿弥陀寺と赤間神宮 廓文化のそもそもの始まりは？

- ・先帝祭とは：壇ノ浦の戦いの翌年、安徳天皇の遺骸を納めた阿弥陀寺(現赤間神宮)境内に御影堂を建立し、その遺徳を偲ぶ先帝会を開催したのが起源。
- ・先帝とは 平家の女官らとともに みもすそ川沖の海峡、壇ノ浦 に入水した安徳天皇。
- ・現在のお祭りの最大の出し物は、なぜか「上臈道中」：上臈道中とは、着飾った最上級の花魁が、お客さまに指名されると、揚屋や引手茶屋まで迎えに行くこと。映画「吉原炎上」で名取裕子が演じたことで有名。
- ・つまり 馬関では今でも、廓文化を継承し(?)、毎年花魁の上臈道中をやっているという事。

ハ) 壇ノ浦の合戦は赤間関の廓文化の始まり。「お花代」や「お線香代」のいわれは？

- ・赤間が関稲荷町の遊女は、壇ノ浦の合戦で滅亡した平家の官女たちが身を落として遊女になったことが起こりだと。面白いのは、その遺風として、客より上座に座するという風俗があったと。
- ・日本では遊女へのそれを、「お花代」「お線香代」と言うようになったのは、女官たちが旦那供養の墓前に供える花と線香に充てるためからとの説。

ニ) 「天皇様」という名のバス停が示す豊田湖畔にあるもう一つの安徳天皇陵

- ・赤間神宮に祭っているとされるが、正式には天皇陵は その隣にある阿弥陀寺だが・・・。
- ・日本海側との分水嶺に近い、木屋川上流豊田湖畔に、突如あらわれる「天皇様」というバス停。
謂れ：壇ノ浦の合戦後、日本海側警灘で漁師が網を曳いていると、安徳天皇の御尊骸が網にかかって発見され、御尊骸と網を棺に移して運んでいたところ、急に重くなり運ぶことができなくなり、棺を立てて休憩した。このことから、その地を「御篋建場<御籠立場（かごたてば）>」と称す。のち、人里離れた丘に御尊骸を埋葬した。これがもう一つの安徳天皇陵。現在の「安徳天皇西市御陵墓」。他に烏賊ヶ淵（いかがふち）伝説あり。安徳天皇の陵墓は二つもあるのである。

2) 「潮待ち」という立地条件（大義）が 作った 大遊郭「大阪屋」の立地背景

- ・赤間が関 馬関下関 の廓は、日本海 瀬戸内海 上方への一大交通要所に加えて、必ず停泊を要した「潮待ち(潮流 最大10kt)」が故に、上陸の大義名分が存在したからと。
- ・千石船北前船が支え、江戸吉原 京都島原に匹敵する 花魁を抱える大遊郭大阪屋が、赤間が関の廓文化を形成。先帝祭に連綿とつながっている。

3) ちなみに 「日本の遊女」と「韓国の妓生」との決定的な違いは？

- ・方や人間、方や奴婢、物。奴隷制度を経験しなかった日本人は人間と奴隷の違いを理解できない。「身請け？」しても奴婢は奴婢、奴隷の子は奴隷。奴隷戸籍は変えられない。戦乱を待つて戸籍を焼却消滅するしかない。
- ・ちなみに、韓流ドラマ「チャングムの誓い」の主人公は宮廷医女だが、人間ではなく奴婢階級。これが隣国の価値観であり歴史。箸と筆より重いものは持たない者が上流という両班・儒教思想からか？
- ・英語で奴隷は「slave」。語源はスラブ人（slav）。ローマ時代からの欧州の歴史。

【7】もっと遡って1,800年前、古事記の時代の穴門／豊浦の男と女の話

忌の宮／長門二の宮に見る 200年頃の話。不遜ではあるが見聞きしたそのままを述べることに。

- ・長府にある長門二の宮 忌の宮神社は 豊の浦宮とも言われ、仲哀天皇がその死後祭られている。仲哀天皇の皇后はかの神功皇后だが、神社の正史とは異なる、多様な古事記解釈の興味深い？話あり。

1) 忌の宮は豊浦宮。熊襲征伐の前進基地としての都（仮宮）。

- ・熊襲征伐に出向いた仲哀天皇は福岡香椎で討ち死にし、神功皇后が仲哀天皇を、穴門（あなと：関門海峡）の奥の仮の宮であった豊浦宮に葬ったというのが表の言い伝えだが、仲哀天皇が三韓征伐に反対したため神宮皇后派の逆襲にあい暗殺されたとの静いクーデター説あり。
- ・更に、仲哀天皇の死後、住吉大神の託宣により、受胎告知をうけて神功皇后はお腹に宿したまま三韓征伐に向かい、帰られた後、応神天皇をご出産。このため家臣の武内宿禰命が父親と言う不義密通 不倫説あり。

2) 今でも続く 奇祭 忌の宮の「数方庭祭（スハウテイ）」

- ・忌の宮には、数方庭祭（スハウテイ）なる、戦勝祭りとしての奇祭がある。新羅の大將、塵輪（ジンリン）が熊蘇を煽動して攻め寄せてきたが、仲哀天皇が、塵輪を退治し、人々が矛をかざし旗を振ってて歓喜し塵輪の屍のまわりを踊りまわったのが始まりと伝わる。境内には、塵輪の首を埋めて石で覆ったと伝わる「鬼石」がありこれを7晩踊り狂い回り続ける。
- ・実は、他説では、この「鬼石」の下は、香椎で謀殺され、穴門豊浦宮に送った仲哀天皇の首であり、神功皇后側の戦勝祭りという見方もある。古事記解釈は興味深い。

仲哀天皇陵は、畿内難波の藤井寺にある前方後円墳「惠我長野西陵」。

いずれにしても大和朝廷が畿内に確固として確立する前の、三韓との大変交錯した時代があったことを伺わせる、穴門、豊浦宮、忌の宮、赤間が関馬関。

- ・なお、北九州には 神功皇后 朝鮮征伐関連伝説が多数ある。八幡の皿倉山の隣が帆柱山 と皇后が岬と伐 等 神功皇后の痕跡地名 多数あり、話せば長くなるので別稿に譲ることに。

3) 14代応神天皇 生誕地「吉母」と若宮神社→ 住吉神社

- ・下関市吉母(よしも)の地名の由来は、三韓征伐から戻った神功皇后が海岸で藻をよせ集めて身を暖めてお産をされたことから、その地を“よせも”と言われた。吉母の若宮神社は長門国一の宮である住吉神社の本宮であり、その浜辺で「応神天皇」が御誕生されたと。またその時の胎盤の塚、胞衣塚(エナ塚)も。さらには、長府の忌宮神社の近くに産湯のための水を汲んだ豊浦池がある。祭神は神功皇后、応神天皇、仁徳天皇(畿内大和に確立する前に、何やら長門(豊浦宮)に政権があったのではないかとの印象を強く持たざるを得ない感じ。戦後の歴史教育の空白期間か?)

【8】 忌の宮に残る「蚕種渡来之地」記念碑 と 秦氏。 豊浦は秦氏の国か？

- 1) ・同 1800 年のむかし (195 年/仲哀 4 年) 中国より秦の始皇 11 世の子孫功満(こま)王が来朝帰化しここ豊浦宮にご滞在の仲哀天皇(192 年~200 年)に蚕種(カイコの卵)を献上したのが、わが国養蚕の始まり。

- ・中国「秦(BC221~BC207)」の末裔が帰化、秦氏。その後続々と渡来帰化したらしい。

2) 幡生(はたぶ) : 山陰線終点駅 と 秦氏

- ・幡生(はたぶ)は下関の隣接駅。秦氏の集落 居留地とその周辺に農耕条理の痕跡多数。
- ・秦の始皇帝の末裔。帰化人した技術集団: 養蚕業 鑄造 土木 水利 建築 製塩 ほか九州北部に入植と。 一大勢力に成長。
- ・現在の宇佐八幡宮の祭神は、15代応神天皇(270年~312年)、神功皇后(201年~269年)、宗像三女神である。全国の八幡宮も主祭神は応神天皇である。元々は秦氏の氏神との説。
- ・北九州の戸畑、八幡など神功皇后の三韓征伐伝説に由来した有名な地名であるが、同時に秦氏のハタとの関連が伺える。京都太秦 は秦氏の居留地。
- ・宇佐八幡宮は秦氏の守り神 母宮は北九州飯塚の八幡宮。 石清水八幡宮 彦島八幡宮
- ・秦氏がユダヤ人だという仮説がある。古代ユダヤ人の国は古代ローマ帝国にあった。ローマ帝国は中国では「大秦」と呼ばれ、ローマ帝国から来た者には「秦」。

秦氏 八幡神社 住吉神社 と神功皇后 については「関門のふぐ」を離れて またの機会に。

- 3) ちなみに、長府は長門の府として国分寺が建てられ、和同開珎の「長門鑄銭所」跡(703年~)が覚苑寺境内に残る。 秦氏の影響か? 同時期に防府にも鑄銭所が在った。 大和ではなく長門や防府にあったのは秦氏の技術だったのか。 東大寺の大仏の鑄物用銅は長門から寄進したとも。

4) 「幡生」に隣接する「吉見」に残る、入浜式塩田跡 も秦氏の足跡か。

- ・水産大学 掃海艇基地のある 日本海側の吉見に、塩田跡があるが、その昔 秦氏が中国から持ち込んだ、潮の干満を利用した先進式製塩法であったとされる。吉見は吉母の隣町。

4) 弥生期 「土井が浜人骨遺跡(300体)」と 渡来人

- ・秦の始皇帝の圧政により亡命移住等諸説あり。縄文人とは異なる骨格と 特異な東向きの埋葬。

砂の中に混じっている貝殻の石灰分の多いアルカリ性の特異な砂浜が、骨のカルシウム分の保存に適し、人骨の保存状態が良好となったという分析あり。出土した人骨の骨格形質が縄文人のそれと異なるため、大陸から直接、海を越えて渡来して来た渡来弥生人とも。最近の調査で、中国山東省の遺跡で発掘された漢代の人骨資料の中に、土井ヶ浜人ときわめてよく似た形質をもつ資料が多く見つかっていると。

- ・貝殻の多い砂の意味するところとは、極めて貝殻の生育に適したプランクトンの多い海域との証左。縄文人弥生人渡来人のいずれにも住みやすい豊かな海だったといえる。

【9】戻って平安期から近代。楊貴妃も亡命、孫文が支援を求めた国際都市、穴門 赤間が関 下関 唐戸。

- ・昔からの国際交通都市 亡命先 遣唐使 遣隋使 朝鮮通信使が使いザビエルの布教地。西の玄関港。
- ・いまでも上海、青島、釜山の3国際航路を維持し、港に出入国税関が有る珍しい町。
- ・赤レンガの英国領事館跡がある唐戸はその名のごとく、「唐」＝中国をはじめとする諸外国への「戸」＝玄関口に由来しているといわれ、この地名からも下関が古くから国際都市として栄えてきたことが伺える、という唐戸説は、憶測にすぎず真っ赤な嘘(*)。ちなみに佐賀県「唐津」も新しい地名。

(*)日銀下関支店長の山口新聞に掲載した随筆あり。

- ・隠れキリシタン 引接寺 キリシタン灯籠 等の足跡も。
- ・穴門 長門関 赤間が関 馬関 下関。ちなみに上関は、柳井市の西側の室津半島の先端にある。

1) 楊貴妃の亡命先？穴門豊浦の先にある向津具（むかつく）半島にある「楊貴妃」の墓。 温泉楊貴館。

- ・唐の玄宗皇帝のお妃、楊貴妃(唐719年～756年)の墓が、油谷の向津具半島、久津の二尊院内にあると。油谷湾は、向津具半島の内海。その油谷湾奥に楊貴館という温泉がある。(京都二尊院とは別もの。)
- ・唐の玄宗皇帝に謁見した、第8次遣唐使に随伴した吉備真備は、天平5年(733年) 帰国。その際、着岸したのが仙崎の湊であり、そこを吉備船崎と名付けた。船崎は仙崎。仙崎は向津具半島の東側根元。海人にとって東シナ海は手のうち 唐と日本はあまりに近いイーギーゴウの世界だった可能性。従って 楊貴妃亡命伝説もあながち荒唐無稽ではない。

- ・総理大臣安倍家のお墓は油谷。棚田でも有名。

3) 大東亜主義を唱えた「革命家孫文」と優雅な「古代ハスの花」、そして舞子の移情閣。

近代の国際(港)都市下関と孫文と中国古代ハスの花 神戸異人館とのつながり。

イ) 大賀博士が咲かせた 孫文寄贈の古代ハス：市立長府庭園(毛利の家老の屋敷跡)に咲く孫文蓮は有名だが、田中隆(1866～1935)は下関でもあまり知られてはいない。田隆汽船を設立した船成金田中は、孫文を支援、300万円(現在約30億円)を贈る。他にも多数のスポンサーがいた(神戸では松方)。孫文は、お礼に古代蓮の実を4つ贈った。これを大賀博士に発芽を依頼。現長府庭園で毎年見ることが出来るに至った。脱亜入欧の時代にあって、アジアとともに欧米に対抗しようと応援した義人の一人。彼が長府黒門に建設していた西洋館は豪華な建物であったが事業失敗し中断。その後某造船所の所有となり現存している(次項ロ))

- ・孫文の古代ハスは崇高で気品に満ち、一見の価値あり。開花季節には開花時間に合わせて早朝開園。

ロ) 未完成の洋館(田中私邸跡：某社長府苑)と ハンセル建築

- ・某社迎賓館として使っている、長府苑/旧田中邸に、御影石作りの地下ワインケラーと、赤レンガ壁 だけが残る未完成の洋館が有る。赤レンガは英国から輸入し、長府港からトロッコレールを敷設し運び込

まれた、と言われている。実は、設計者は神戸異人館等でも実績のあるかのアレキサンダーハンセル。精緻なパース図が残っている。並建した日本邸宅には、なぜか国分寺礎石が残る。

・ハンセルの作品は、重文 旧ハンセル自邸 旧ハッサム住宅や、神戸異人館街横浜居留地に多数。

ハ) ハンセルの弟子横山と孫文記念館と大アジア主義

・大アジア主義の記念すべき初講演(1942年)は兵庫女子高等学校講堂で行われたと。スポンサーでもあった松方も居り、神戸と孫文は関わり合いが深く、舞子にある移情閣、「孫文記念館」はその表れ。実は移情閣は「舞子の六角堂(実際は八角)」と言われているが、長府苑の未完の洋館を設計したハンセルの弟子横山栄吉の作である。

・「大アジア主義講演」を通じ、欧米の帝国主義にたいし東洋の王道と平和の思想を説き、日本に対して、東洋王道の守護者となるよう期待。 21世紀の今、大東亜共栄圏は実現しつつあるのかも。

3) ラストエンペラー(溥儀)の弟「溥傑」と 下関市綾羅木の 中山神社境内「愛新覚羅社」のこと。

・映画「ラストエンペラー」の主人公は、清朝最後の皇帝だった愛新覚羅溥儀。その弟を祭った社あり。

・1988年(昭和63年)造営。祭神は愛新覚羅溥傑(あいしんかくらふけつ)と、妻の嵯峨浩(さがひろ、忠臣中山忠光の曾孫)および夫妻の長女。

・通常、社殿は東向きまたは南向きに建てられるが、同社の社殿は中国大陸に向かって西向きに建てられている。

4) 朝鮮通信使 や ザビエルのこと

イ) 朝鮮通信使の第一寄港地が赤間が関 1633年~1811年

・通信使は将軍の代替わりや世継ぎの誕生に際して、朝鮮側から祝賀使節として派遣されるようになった。室町時代2回 江戸時代12回 計14回

・通信使の水車に関する帰朝報告から見る 隣国の価値観と技術開発軽視は興味深い話。室町時代第1回で農業灌漑用水車に驚き帰朝後王に開発を進言し、また再び 江戸11回1764年にも帰朝報告。335年経ても水車も開発できず、農業用灌漑用水も整備できない、開発の価値を見いださない働かない両班・儒教文化の片鱗をうかがわせる。ちなみに、樽やおけを作れず。猫車(1輪車)ですら王族用。木を加工し輪を作る技術を開発できなかったようだ。日本は、儒教を、個人の嗜みとしては取り入れたものの、政治にはとりいれず、国家として健全な判断をしたと言える。聖徳太子以来の対等自立意識の賜物か。東洋清朝は滅亡し、隣国は未だ自立浮上できない現状は 科挙制度と儒教が原因かも。

・通信使に「御馳走一番」と言われた馬関の宿。某老舗旅館〇〇別館がメニューを再現したとか。

ロ) ザビエルの布教地 隠れキリシタン 引接寺 キリシタン灯籠

・唐戸にある引接寺は、朝鮮通信使の定宿、かつ下関条約(1895年) 清国全権大使 李鴻章が6カ月投宿した曹洞宗のお寺。なお引接寺から春帆楼まで李鴻章散歩道として残る。下関は中国観光客は少ない理由はこれかもと。

・同寺三門には名工・左甚五郎の作と言われる大きな龍の彫刻がある。刀傷伝説あり。見ごたえあり。

・ところがこの引接寺には、ザビエル布教の痕跡あり。火口の無い十字を思わせるキリシタン灯籠あり。

ザビエルは、1550年赤間が関に上陸、鹿児島上陸はこの前年。大内氏が支援したので山口市に立派なザビエル教会あり。森嶋外を輩出した島根県津和野にもザビエルの痕跡。

【10】700年前、元寇の役(1281年~)、 防衛陣地/防塁の最北地。狂気の大仏移動。

- 1) 川棚温泉の黒江に、長門三の宮 杜屋神社の先にある、下関ゴルフ倶楽部の1番ホール、パー5、514Y。
 - ・1打目ティーショット。右は美しい砂浜が続く。逃げるとOB請け合いの左ラフ先に、その元寇の役の「防塁跡」がある。唐津 博多に多くが築かれ防塁の最北が下関の黒井の海岸であると。
- 2) 厚母の黒大仏、恐怖心の馬鹿力。瀬戸内の長府国分寺から日本海側の厚母まで大仏を担ぎ出した。
 - ・蒙古が攻めて来るといので、百済から逃げて来たたくさんの人たちを使って、大きい石垣を築いて山城を造る大工事を行い、日本海側の室津港は、長府からもたくさんの兵隊が来て大騒ぎ。見たこともない恐ろしい蒙古の大將ゴンゴが来るといので、神仏のお力をお借りして外敵降伏・神国安穩を祈らねばといので、長府の国分寺にあった大仏さまを初めは吉母の東光坊にお移ししたが、とうとう室津の東坊寺までお遷りいただいて祈願をしたことに始まる。これが豊浦町厚母にある安養寺の「黒仏」。実に大仏を15kmも人力で運んでいる。火事場の馬鹿力か。
 - ちなみに、この吉母は神功皇后が応神天皇をご出産された若宮神社がある吉母であり、厚母の東側3km。

【11】捕鯨と林兼産業 大洋漁業 林兼造船、と角島。そして 灯台 のこと

- 1) 捕鯨は、古代から長門の瀬戸崎浦・通浦が有名だが、江戸時代には特牛浦においても鯨網組を運営。
 - イ) 仙崎青海島には捕鯨博物館があり縄文時代から捕鯨の歴史ありと。鯨網組は地元有力者により組織された。
 - ロ) 「林兼産業」と捕鯨で大企業となった大洋漁業と林兼造船。
 - ・林兼産業、後の大洋漁業が、兵庫県明石林崎の出身であることはあまり知られて無い。林兼の林は出身地の林崎の林。下関に移って捕鯨業を始め水産業で成功。自社漁船用に林兼造船所までつくった。大洋漁業の商標やマルハニチロの「〇は」は林兼の「は」であり、つまり林崎の「は」であると。
 - ・野球大洋ホエールズ→横浜ベイスターズ→横浜 DeNA ベイスターズのオーナー企業だった。
 - ・下関ゴルフ倶楽部設立、アマチュアの中部銀次郎は一族。
 - 2) 固有種クジラ『つものしまくじら』と 角島 灯台と古代縄文
 - ・角島大橋は、海の中を突っ切っていく自動車のPR宣伝映像で有名だが、実は・・・
 - イ) 記憶すべきは、学名にまで取りあげられた 固有種「角島クジラ」あり。
 - ・エメラルドグリーンの海は、豊かな貝殻豊富な白く黄色い砂(シェルサンド)の太陽光反射から。この貝殻質の多い砂地は、6000年前の縄文のころから、氷河期の海水面の変動と季節風によって砂丘として形成されたもの。豊かな海の証左。
 - ロ) 角島灯台は、お抱え灯台技師 リチャードヘンリーブラントン 国内最後の作。
 - ・美しい御影石作り。日本に2台しかない無塗装灯台。道もない孤島に、持ち運び積み上げれるサイズに小さく分割した御影石と、平面三角ガラス板を組合わせて、驚くほど精緻に作った円筒ライトハウス、日本の石工と大工の技量の高さに感嘆させられる1品。1876年明治9年点灯。
 - ・「灯台の父」と呼ばれる若きイギリス人お抱え灯台技師は、在日8年で26基、角島は最後作。他に天保山 和田岬 友が島 潮岬 犬吠埼 等の各灯台。巡って見ると大変興味深いものがある。
 - ハ) 縄文期のペトログラフは シュメール文字の遺跡。
 - ・氷河時代最後まで大陸と繋がっていた地域だと。
 - ・紀元前2500年から紀元300年代にかけてつかわれた古代文字を刻んだ岩、ペトログラフ岩刻文字遺蹟が、角島に。先述(【5】3)の彦島、杉田遺跡からも見つかっている。「杉田丘陵の岩刻

文字は、シュメール文字や古代バビロニア文字などで刻まれており、世界的に続々と見つかっているシュメール、フェニキア系の岩刻文字で、世界的な民族移動の痕跡の一部かとも。

- ・古代シュメール・バビロニア起源の楔形文字であるらしい。
- ・隠され隠ぺいされ続けた「縄文」は、DNA、XY染色体分析も加わり俄然面白くなってきている。

【12】 赤間が関：海峡の ジオ的な もう一つの側面

今や6つある交通手段 トンネル4本 橋1本 渡船1航路。

外輪船型フェリーの鉄道連絡船は関門トンネル開通と同時に閉鎖

1) 延々と途切れることなく続く 海峡の両入口の浚渫事業

- ・海流潮流による海底切削で発生する海峡両入口の浚渫事業。北九州空港埋め立て。新たに長州出島人工島造成。永遠に続けなければならない海峡の浚渫事業。今でも出て来る、B29 投下機雷の後始末。ちなみに、中国の河川運河浚渫省庁は鉄道省以上の巨大利権省庁。

- ・関門トンネル：大正と昭和にまたがった大工事、鉄道トンネルの土砂で生まれた、埋立地「大和町」と現下関駅周辺。ドロドロした埋立利権？

2) B29 の機雷投下 4000 発による関門港閉鎖。

- ・GHQ指示で戦後すぐ始まった、米軍機雷投下海図を元に始まった掃海事業。
- ・イラク戦争で、大活躍した掃海隊発祥の地は下関。実は朝鮮動乱でも徴用で、密かに韓半島に。
- ・下関門港の掃海業務を担った下関基地隊(警察予備隊)は、自衛隊より1年早い開隊が自慢。

3) 豊浦標準砂豊浦標準砂とは、

- ・山口県豊浦で産出される天然のシリカサンド。粒に丸みがあり、淡黄色をしている硅砂。粒度が揃い不純物が少ない豊浦標準砂は、実験などにおける誤差が生じにくいいため、セメントやコンクリートの強度・密度検査、地層・地質の実験などで使用される。豊浦硅石鉱業株式会社が製造販売している。豊浦標準砂(旧 JIS Z 8801)

【13】 彦島 巖流島のこと

巖流島は、S字型をした海峡の内側、門司と彦島の中の彦島側に隣接してあり、舟島ともいう。

1) 「佐々木巖流」が、助太刀の弟子をなだめて待たせた対岸彦島側に、今も残る「弟子待町(デンマツ)」。

2) 彦島は平家広島の宮島になり損ねた。平家の宮は広島巖島だが、彦島が7里7浦以上もう少し大きければ、また大島上島の神峰山が巖島弥山(みせん)より高ければ、宮島になれたとの残念伝説あり。

終りに

本稿は、地元観光業の集まりや、商工会議所等の酒席で聞き入れた話をまとめたものであり、時代考証等の裏付けが必ずしもあるものではなく、「ふく」の会食の席で、地元自慢を含めて面白可笑しく語られているものである。一部は最新の切り口も加えた。(その1)としたのは、この他に異説を含めまだまだ沢山あるので、とりあえずとした。学究の徒はこれを入りに異説等の探求を深めて頂ければ幸いである。

添付地図：1・唐津名護屋 油谷楊貴妃の墓 大分宇佐神宮 広域図

2・穴門より北部広域

3・下関 豊浦 中域図

4・穴門 馬関 中心部 詳細